

令和1年9月28日

筑紫野市議会  
議長 高原 良視 様

報告者 前田 倫宏

## 令和1年度 研修報告書

下記のとおり、参加した研修について報告します。

### 記

1. 日 時

令和1年8月22日（木）から23日（金）1泊2日

2. 研修先及び研修項目

高松市生涯学習センターまなびCAN（住所：香川県高松市片原町11-1）  
「改めて考える地方自治と議員・議会のめざす姿について」

3. 研修者 前田 倫宏

4. 内容

**【研修目的】**

人口減少社会が進み、地域経済・社会が厳しい状況を迎える中で全国から集まる自治体議員や市民と共に民主主義を考える。

**【研修概要】**

統一地方選を経て、新人・再選議員に改めて「地方自治と議員・議会のめざす姿」を問う。各議員が支持者の要求実現を執行部に迫るだけの議会から、唯一の議決機関として合意形成の場へ。各地の実施例や歴史を踏まえ、市民自治への試みを話し合う。

講師：中央学院大学教授（元我孫子市長）福嶋浩彦 様

### 【まとめ】

日本は人口減少社会を迎えており、少なくとも50年くらいは、出生率が上がっても日本全体の人口は減ると言われている。従来の社会の仕組みを維持するために、人口減を食い止めるのではなく、人口減になっても市民が幸せになれる持続可能な社会の仕組みに変える必要がある。こうした持続可能な社会を作るためにも、同じ主張の人だけで集まり、互いの要求をぶつけ合う民主主義から、多様な意見を持つ人が対話し、知恵を出し、適切な選択をする民主主義に変えていかなければならない。無作為抽出による市民討議が民主主義を進化させると考えられる。

### 【状況写真】

